

論文

「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の 分析と一考察

米倉 孝¹⁾・米倉 由起²⁾

キーワード：童謡 唱歌 調性 拍子 子どもの声域

1 はじめに

平成26年5月、全国大学音楽教育学会編著として“明日への歌い継ぐ日本の子どもの歌—唱歌童謡140年の歩み—”が出版された。この唱歌童謡集は全国大学音楽教育学科の本書作成委員が明治9年(1876年)から平成17(2009年)までの133年間で作曲された楽曲の中から特に代表的な153曲を選出し編集された。今回は、この編集された153曲「表1」を調査した中から調性、拍子、声域の3項目について調査した。これら3項目を①1870年代～1880年代、②1890年代～1900年代、③1910年代～1920年代、④1930年代～1940年代、⑤1950年代～1960年代、⑥1970年代～1980年代、⑦1990年代～2009年代まで約20年ごとに分類して分析と考察を行った。

2-1. 調性について

「表1」153曲の調性は以下の通りに20種類に分類された。「図1」1. へ長調(43曲)、2. ハ長調(29曲)、3. 二長調(28曲)、4. ト長調(16曲)、5. 変ホ長調(13曲)、6. 変ロ長調(6曲)、7. ホ長調(1曲)、8. イ長調(1曲)、9. 変イ長調(1曲)、10. ハ短調(2曲)、11. ホ短調(1曲)、12. イ短調(1曲)、13. ロ短調(1曲)、14. へ短調(1曲)、15. 平調律旋(2曲)、16. 陽音階(2曲)、17. 陰音階(1曲)、18. 陰旋法(1曲)、19. 壹越律旋(1曲)、20. 律音階(1曲)以上である。

¹⁾ 山陽学園短期大学 幼児教育学科

²⁾ くらしき作陽大学子ども教育学部

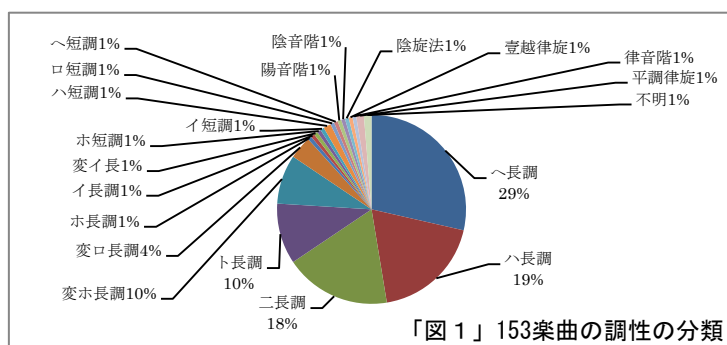


図1. を見て分かるように、へ長調、ハ長調、二長調、ト長調の頻度順になっている。これらの調性を各年代ごとの分類で分析すると以下のような結果になった。

- ①1870年代～1880年代 6曲 6種類：ト長調（1曲）、ハ長調（1曲）、壹越律旋（1曲）、律音階（1曲）、平調律旋（1曲）、陰旋法（1曲）、
- ②1890年代～1900年代 8曲 4種類：へ長調（3曲）、二長調（2曲）、ハ長調（1曲）、平調律旋（1曲）
- ③1910年代～1920年代 31曲 9種類：へ長調（10曲）、ハ長調（7曲）、二長調（6曲）、ト長調（2曲）、変ホ長調（2曲）、変ロ長調（1曲）、イ長調（1曲）、変イ長調（1曲）、ロ短調（1曲）
- ④1930年代～1940年代 17曲 9種類：へ長調（4曲）、ハ長調（3曲）、ト長調（3曲）、二長調（2曲）、変ホ長調（1曲）、変ロ長調（1曲）、イ短調（1曲）、ハ短調（1曲）、陽音階（1曲）
- ⑤1950年代～1960年代 60曲 11種類：へ長調（19）、二長調（12曲）、ハ長調（11曲）、変ホ長調（5曲）、ト長調（4曲）、変ロ長調（3曲）、ホ長調（1曲）、ホ短調（1曲）、へ短調（1曲）、ハ短調（1曲）、陽音階（1曲）
- ⑥1970年～1980年代 23曲 6種類：へ長調（5曲）、ハ長調（4曲）、二長調（4曲）、ト長調（4曲）、変ホ長調（4曲）、変ロ長調（1曲）、イ短調（1曲）
- ⑦1990年代～2000年代(2009年まで) 8曲 5種類：へ長調（2曲）、二長調（2曲）、ハ長調（1曲）、ト長調（2曲）、変ホ長調（1曲）

以上の結果を分析することにより、各年代による特徴をみることができる。

①1870年代～1880年代 6曲 6種類について。西洋音楽が明治時代（1869年）に導入されたところであるので、保育・小学唱歌に関して作曲された数も非常に少ない。江戸時代から取り入れられている日本独自の旋法を取り入れた作品がみられる。

②1890年代～1900年代 8曲 4種類について。8曲中 7曲が西洋音楽から取り入れた調性で作曲されている。又、1870年代～1880年代と同じようにまだ、保育・小学唱歌として本格的作曲されていない時期であるために曲が少ないと考えられる。1904年（明治37年）2月8日—1905年（明治38年）9月5日）の期間に日露戦争が勃発。世の中が戦争に向かっている時代において文化面は軽視されがちであると考えられる。

③1910年代～1920年代 31曲 9種類について。この時代から西洋音楽の調性が主流になり、へ長調（10曲）、ハ長調（7曲）、二長調（6曲）の頻度順となっている。

④1930年代～1940年代 17曲 9種類について。この時代は曲数が急に減少している。日

本に志那事変が1937年(昭和12年)に始まり、続いて1941年(昭和16年)大東亜戦争(第2次世界大戦)が1941年(昭和16年)開戦、1945年(昭和20年)の終戦まで、保育・小学唱歌がほとんど作曲されなかった。調性に関しては短調の数に増加がみられる。

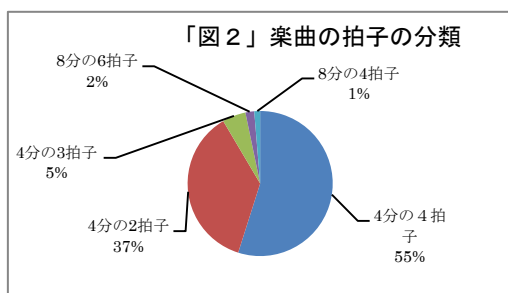
⑤1950年代～1960年代60曲11種類について。へ長調(20曲)、二長調(12曲)、ハ長調(11曲)、変ホ長調(5曲)、ト長調(4曲)、変ロ長調(3曲)の頻度順になっている。特にへ長調、二長調、ハ長調の曲が多くみられる。日本古来の旋法の曲はみられない。

⑥1980年代23曲6種類について。この時代はへ長調(5曲)、ハ長調(5曲)、二長調(4曲)、ト長調(4曲)、変ホ長調(4曲)、変ロ長調(1曲)。日本古来の旋法の曲はみられない。皆無である。

⑦1990年代～2000年代8曲5種類について。この時代も上記の時代と同じように日本古来の旋法の曲はみられない。1950年以降皆無である。

2-2. 拍子について

153曲の拍子の割合は以下の通りである。「図2」4分の4拍子84曲(55%)、4分の2拍子56曲(37%)、4分の3拍子8曲(5%)、8分の6拍子3曲(2%)、8分の4拍子2曲(1%)。



これらの拍子を20年ごと分類すると以下のような状況になった。半分以上が4分の4拍子である。続いて4分の2拍子となっている。これらの拍子を20年ごとの分類で分析すると以下のような状況になった。

①1870年代～1880年代6曲、4分4拍子(3曲)、4分の2拍子(3曲)

②1890年代～1900年代8曲2種類、4分の2拍子(5曲)、4分の4拍子(3曲)

③1910年代～1920年代31曲3種類、4分の2拍子(16曲)、4分の4拍子(11曲)、4分の3拍子(4曲)

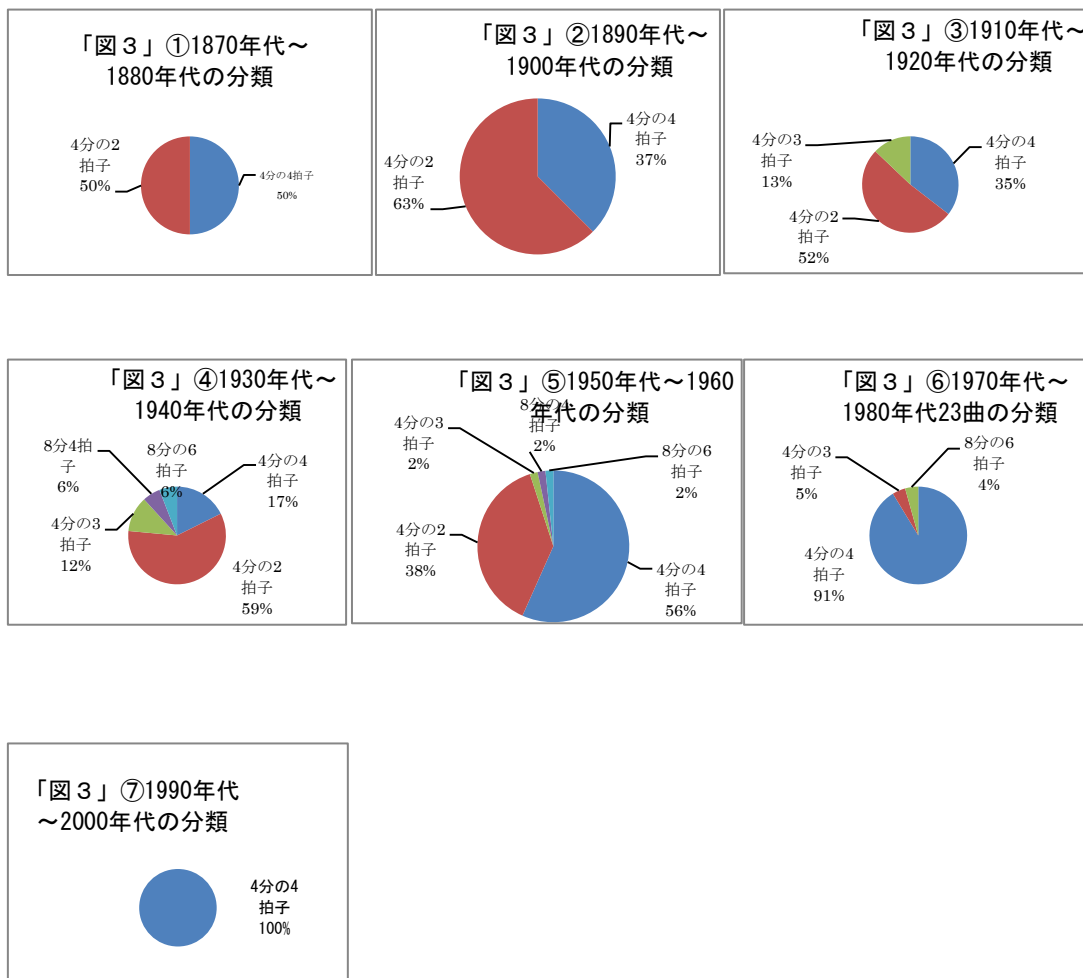
④1930年代～1940年代17曲5種類、4分の2拍子(10曲)、4分の4拍子(3曲)、4分の3拍子(2曲)、8分の4拍子(1曲)、8分の6拍子(1曲)

⑤1950年代～1960年代60曲5種類、4分の4拍子(34曲)、4分の2拍子(23曲)、4分の3拍子(1曲)、8分の4拍子(1曲)、8分の6拍子(1曲)

⑥1970年代～1980年代23曲4種類、4分の4拍子(21曲)、4分の3拍子(1曲)、8分の6拍子(1曲)

⑦1990年代～2000年代8曲1種類、4分の4拍子(8曲)

各年代における分類は以下の通りである。「図3」



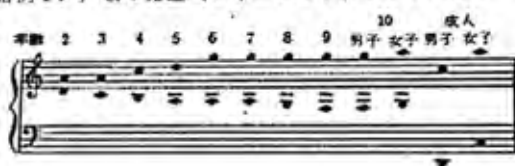
以上の結果で分かるように、大半が4分の4拍子、4分の2拍子が使用されている。明治時代以前の日本の曲で4分の3拍子はみられない。明治時代に入り西洋音楽からの音楽の影響で4分の3拍子の曲、及び、8分の4拍子、8分の6拍子の曲が作曲されるようになったと考える。

2-3. 声域について

こどもの声域については、

今回153曲の声域の分類においては、声域の調査論文で多くの方々方が資料として使用している「図4」声域の発達（ジャーシルド、ビンストック 1934年）による声域の調査を基にしておこなった。

語例1. 声域の発達 (ジャーシルド、ピNSTOCK 1934年)



注1) 齊藤繁 幼稚園教諭・保育養成課程用『幼児の音楽教育』音楽教育研究会 1997 p. 26の語例1より転載

「図4」久保田和子 幼児の歌唱指導に必要な指導者の技術に関する考察 関東短期大学紀要 第59集 2017 pp54より転載

上記「図4」2才から8才までの声域発達を表している音符上下の範囲を音名読みで表すと以下ようになる。

2才「レ～ラ」(・ニ～・イ)、3才「ド～ラ」(・ハ～・イ)、4才「シ～ド」(ロ～…ハ)
 5才「ラ～レ」(イ～…ニ)、6才「ラ～ソ」(イ～…ト)、7才「ラ～ソ」(イ～…ト)、8才
 「ソ～ソ」(ト～…ト)

「表1」で表している153曲を「図4」の年齢可能範囲で分類すると以下ようになる。

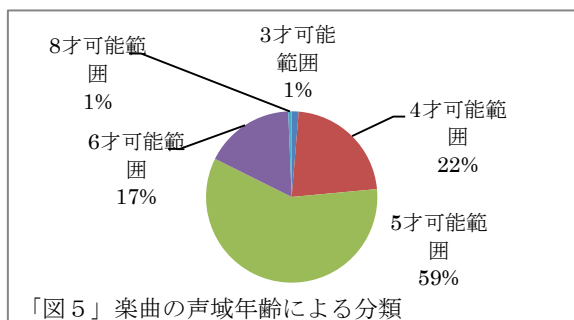
3才可能範囲：(合計2曲)・ハ～・イ (1曲)、・ニ～・ト (1曲)

4才可能範囲：(合計33曲)・ハ～…ハ (15曲)、・ニ～…ハ (6曲)、ロ～…ハ (3曲)
 ・ニ～・ロ (3曲)、
 ロ～・ロ (1曲)、・ハ～・変ロ (2曲)、・嬰ハ～・ロ (1曲)

5才可能範囲：(合計91曲)・ハ～…ニ (41曲)、・ニ～…ニ (25曲)、ロ～…ニ (5曲)
 ・ハ～…ニ (5曲)、変ロ～…ニ (4曲)、・ホ～…ニ (2曲)
 イ～…ニ (2曲)、イ～・ロ (1曲)、ロ～…嬰ハ (2曲)
 変ロ～…ハ (1曲)、嬰ハ～…嬰ハ(1曲)、変ホ～…変ニ (1曲)
 ・ト～…ニ (1曲)、

6才可能範囲：(合計26曲) 変ロ～…変ホ (7曲)、・ハ～…ホ (3曲)、・ニ～…ホ (3曲)
 ・ハ～…へ (2曲)、・ハ～…変ホ (1曲)、・ハ～…へ (1曲)
 ・ニ～…変ホ (1曲)、・ホ～…ホ (1曲)、・変ホ～…変ホ (2曲)、
 嬰ハ～…変ホ (1曲)、・嬰ハ～…ホ(1曲)、変ロ～…へ (1曲)、
 ロ～…ホ (3曲)、ロ～…嬰へ (1曲)

8才可能範囲：(合計1曲) ト～…ハ (1曲)



「図5」のグラフから、153曲中、59%91曲が5才可能範囲、22%34曲が4才可能範囲、17%26曲が6才可能範囲を対象にしている曲数の結果がみられる。3才可能範囲は1%2曲により楽曲が少ない。これは3才可能範囲を対象にした楽曲が作曲されていないことである。又、①～⑦の時代区分においての結果は以下のようになった。（「年齢可能範囲」は年齢のみ表記）

- ①1870年代～1880年代：合計（6曲）6才（2曲）、5才（2曲）、4才（1曲）、3才（1曲）
- ②1890年代～1900年代：合計（8曲）5才（5曲）、4才（2曲）、6才（1曲）
- ③1910年代～1920年代：合計（31曲）5才（20曲）、6才（7曲）、4才（4曲）
- ④1930年代～1940年代：合計（17曲）5才（8曲）、4才（6曲）、6才（3曲）
- ⑤1950年代～1960年代：合計（60曲）5才（44曲）、4才（10曲）、6才（6曲）
- ⑥1970年代～1980年代：合計（23曲）5才（9曲）、4才（7曲）、6才（6曲）8才（1曲）
- ⑦1990年代～2000年代：合計（8曲）6才（4曲）、5才（3曲）、4才（1曲）

この区分をみても3才可能範囲で歌える楽曲が少なく、5才、4才可能範囲で歌える楽曲が大半を占めていることが分かる。

3. おわりに

全国大学音楽教育学会編著として“明日への歌い継ぐ日本の子どもの歌—唱歌童謡140年の歩み—”153曲の調性、拍子、声域の3項目を分析した中で特に調性と声域に関しては以下の事が分かった。

調性の分類では、使用頻度の高い調性は153曲中へ長調43曲(29%)、ハ長調29曲(19%)、ニ長調28曲(18%)であった。へ長調、ハ長調、ニ長調が1910年代から現代に至るまで取り入れられていることが分かる。

声域の分類では、153曲中、4才可能範囲、5才可能範囲が歌える合計124曲(81%)を占めている。これも4才可能範囲、5才可能範囲の年齢のことを考え1910年代から現代に至るまで多く取り入れられていることが分かる。

拍子の分類では、153曲中4分の4拍子84曲(55%)、4分の2拍子56曲(37%)、4分の3拍子8曲(5%)、8分の6拍子3曲(2%)、8分の4拍子2曲(1%)以上のように多くが4分の4拍子、4分の2拍子である。明治時代以降から西洋音楽の影響を受けて4分の3拍子の曲が世の中に現れ始めたと言われているが、現代においても4分の3拍子の曲はそれほど多く現れていない。今後の研究課題となる。

「表1」日本こどもの歌分析

曲順	1 曲名	2 作詞者名	3 詞補作 又は 採譜	4 作曲者名	5 編曲	6 作曲 年代 西暦	7 元年	8 調 旋法 音階	9 拍 子	10 音符 最低 音	11 音符 最高 音	12 声域 可能 年齢 何歳 以上	13 備考
1	風車	作詞者不明		東儀季 撰譜		1876	明治 9年	壹越律旋	4分 の2	・ ニ	・ ホ	6	
2	越天楽今様	慈 鎮		日本古譜		1881	(平安期)	律音階	4分 の4	口	・ ホ	6	
3	蝶々	野村秋足 ほか		スペイン 民謡		1874	明治 7	ト 長調	4分 の2	・ ト	・ ニ	5	
4	見わたせば (むすんでひら いて)	柴田清照 (1番) 稲垣千頭 (2番) あそびうた		(ジャン= ジャック・ルノー 作曲)		1881	明治 14	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ イ	3	
5	家鳩	作詞者不詳		雅楽課 伶人撰譜 中村道子 採譜		1883	明治 10年	平調 律旋	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
6	さくらさくら	日本古謡		文部省 音楽取調掛編集		1888	明治 21	陰 旋法	4分 の4	口	・ ハ	4	
7	うさぎ	日本古謡		江戸時代わらべ歌		1892	明治 25	平調 律旋	4分 の2	・ ニ	・ ハ	4	
8	一月一日	千家尊福		上 真行		1893	明治 26	二 長調	4分 の4	・ ニ	・ ニ	5	
9	ひらいた ひらいた	わらべうた		江戸時代わらべ歌		1900	明治 33	陰音階	4分 の2	・ ホ	・ ニ	5	
10	夏は来ぬ	佐佐木信綱		小山 作之助		1896	明治 29	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ホ	6	
11	金太郎	石原和二郎		田村虎蔵		1900	明治 33	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
12	散歩唱歌	大和田建樹ほか		多 梅稚		1901	明治 34	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
13	うさぎとかめ	石原和二郎		納所 弁次郎		1901	明治 34	二 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
14	お正月	東くめ		滝廉太郎		1901	明治 34	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ハ	4	
15	ふじの山	巖谷小波		文部省 唱歌		1910	明治 43	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ハ	4	
16	春が来た	高野辰之		岡野貞一		1910	明治 43	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ホ	6	
17	虫の声	文部省唱歌		不詳		1910	明治 43	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ハ	4	
18	われは海の子	文部省唱歌		不詳		1910	明治 43	変ホ 長調	4分 の4	変口	・ 変ホ	6	
19	かたつむり	文部省唱歌		不詳		1911	明治 44	二 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
20	日の丸の旗	高野辰之		岡野貞一		1911	明治 44	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
21	桃太郎	文部省唱歌		岡野貞一		1911	明治 44	二 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
22	雪	文部省唱歌		不詳		1911	明治 44	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	参考: 作詞 乙骨三郎と 言われている
23	浦島太郎	文部省唱歌		不詳		1911	明治 44	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
24	紅葉	高野辰之		岡野貞一		1911	明治 44	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
25	茶摘	文部省唱歌		不詳		1912	明治 45	ト 長調	4分 の4	・ ニ	・ ニ	5	
26	春の小川	高野辰之		岡野貞一		1912	明治 45	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ハ	4	
27	冬景色	文部省唱歌		不詳		1913	大正 2	ハ 長調	4分 の3	・ ハ	・ ニ	5	

米倉・米倉：「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の分析と一考察

28	鯉のぼり	文部省唱歌	弘田龍太郎	1913	大正 2	へ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	6	参考：当時、東京音楽学校学生（2年生）で作曲した為に、著作権対象外となった。
29	朧月夜	高野辰之	岡野貞一	1914	大正 3	ハ 長調	4分 の3	・ ハ	： ニ	5	
30	故郷	高野辰之	岡野貞一	1914	大正 3	へ 長調	4分 の3	・ ハ	： ニ	5	
31	赤い鳥小鳥	北原白秋	成田為三	1918	大正 7	へ 長調	4分 の2	・ へ	： ニ	5	
32	かなりや	西条八十	成田為三	1918	大正 7	変口 長調	4分 の2	変口	： 変ホ	6	
33	靴がなる	清水かつら	弘田 龍太郎	1919	大正 8	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	： ニ	5	
34	夕焼小焼	中村雨紅	草川 信	1919	大正 8	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ニ	5	
35	とんび	葛原しげる	染田 貞	1919	大正 8	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	： ニ	5	
36	どんぐりころころ	青木存義	染田 貞	1921	大正 10	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ハ	4	
37	てるてる坊主	浅原鏡村	中山新平	1921	大正 10	口 短調	4分 の2	口	： 嬰ハ	5	
38	揺籠の歌	北原白秋	草川 信	1921	大正 10	へ 長調	4分 の2	・ ハ	： ニ	5	
39	七つの子	野口雨情	本居長世	1921	大正 10	ト 長調	4分 の4	口	： ホ	6	
40	垢蜻蛉	三木露風	山田耕作	1921	大正 10	へ 長調	4分 の3	・ ハ	： へ	6	
41	シャボン玉	野口雨情	中山晋平	1922	大正11	ニ 長調	4分 の2	イ	： ニ	5	
42	肩たたき	西条八十	中山晋平	1923	大正 12	変ホ 長調	4分 の2	変口	： 変ホ	6	
43	どこかで春が	百田宗治	草川 信	1923	大正 12	変イ 長調	4分 の4	・ ハ	： 変ホ	6	
44	春よ来い	相馬御風	弘田龍太郎	1925	大正14	イ 長調	4分 の2	・ 嬰ハ	： 嬰ハ	5	
45	アメフリ	北原白秋	中山晋平	1925	大正 14	ニ 長調	4分 の2	・ ニ	： ニ	5	
46	コイノボリ	近藤宮子	作曲者不明	1931	昭和 6	ニ 長調	4分 の3	・ ニ	： ニ	5	
47	牧場の朝	杉村楚人冠	舟橋栄吉	1932	昭和 7	ニ 長調	8分 の4	・ ニ	： ホ	6	
48	スキーの歌	林 柳波	橋本国彦	1932	昭和 7	ト 長調	4分 の4	口	： ニ	5	
49	チューリップ	近藤宮子・ 井上武士	井上武士	1932	昭和 7	へ 長調	4分 の2	・ へ	： ニ	5	
50	まつぼっくり	広田孝夫	小林 つや江	1936	昭和 11	へ 長調	4分 の2	・ ハ	： ハ	4	
51	うれしいひなまつり	サト-ハチロー	河村光陽	1935	昭和 10	ハ 短調	4分 の2	・ ハ	： ニ	5	
52	汽車ポッポ	富原薫	草川 信	1939	昭和 14	へ 長調	4分 の2	・ ハ	： へ	6	
53	うみ	林 柳波	井上武士	1941	昭和 16	ト 長調	4分 の3	・ ニ	： ニ	5	
54	かくれんぼ	林 柳波	下総皖一	1941	昭和 16	イ 短調	4分 の2	・ ニ	： 口	4	
55	たきび	巽 聖歌	渡辺 茂	1941	昭和 16	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ハ	4	
56	子もり歌	日本古謡		1941	昭和 16	隔 音階	4分 の4	・ ハ	： ハ	4	

山陽論叢 第24巻 (2017)

57	たなばたさま	権藤はなよ	林 柳波 補作	下総統一		1941	昭和 16	ト 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	4	
58	里の秋	斉藤信夫		海沼実		1945	昭和 20	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
59	みかんの花咲く丘	加藤省吾		海沼実		1946	昭和 21	変口 長調	8分 の6	変口	・ 変 ホ	6	
60	歌の町	勝 承夫		小林 三千三		1947	昭和 22	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
61	ふらんこ	都筑益世		芥川 也寸志		1948	昭和 23	変ホ 長調	4分 の2	・ ニ	・ ハ	4	
62	とんぼのめがね	額賀誠志		平井 康三郎		1949	昭和 24	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ハ	4	
63	おつかいありさん	関根榮一		團伊玖磨		1950	昭和 25	ニ 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
64	めだかの学校	茶木 慈		中田喜直		1951	昭和 26	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	・ ニ	5	
65	こおろぎ	関根榮一		芥川 也寸志		1951	昭和 26	変ホ 長調	4分 の2	・ ホ	・ ホ	6	
66	かわいいかくれんぼ	サト一ハチロー		中田喜直		1951	昭和 26	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ハ	4	
67	とんとんともたち	サト一ハチロー		中田喜直		1951	昭和 26	ホ 長調	4分 の4	口	・ 嬰 ハ	5	
68	おすもうくまちゃん	佐藤義美		磯部 徹		1951	昭和 26	変口 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
69	みつばちぶんぶん	小林純一		細谷一郎		1951	昭和 26	ト 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
70	あひるの行列	小林純一		中田喜直		1951	昭和 26	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
71	おさるが ふねを書きました	まど・みちお		團伊玖磨		1951	昭和 26	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
72	ぞうさん	まど・みちお		團伊玖磨		1952	昭和 27	ハ 長調	4分 の3	・ ハ	・ ニ	5	
73	やぎさんゆうびん	まど・みちお		團伊玖磨		1952	昭和 27	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
74	きゅつきゅつきゅつ	相良和子		芥川 也寸志		1952	昭和 27	ハ 長調	4分 の4	・ ニ	・ ハ	4	
75	子守歌	野上彰		團伊玖磨		1952	昭和 27	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
76	大きなたいこ	小林純一		中田喜直		1952	昭和 27	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ニ	5	
77	ふしぎなポケット	まど・みちお		渡辺 茂		1954	昭和 29	ト 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
78	わらいかわせみに 話すなよ	サト一ハチロー		中田喜直		1954	昭和 29	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	・ ホ	6	
79	こどりの歌	与田準一		芥川 也寸志		1954	昭和 29	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	・ ニ	5	
80	かぜさん だって	芝山かおる	サト一 ハチロー 補作	中田喜直		1955	昭和 30	ニ 長調	4分 の4	・ ホ	・ ニ	5	
81	ちいさい秋みつけた	サト一ハチロー		中田喜直		1955	昭和 30	ホ 短調	4分 の4	口	・ ホ	6	
82	トマト	荘司武		大中 恩		1956	昭和 31	ハ 長調	4分 の2	・ ニ	・ ニ	5	
83	おかあさん	田中ナナ		中田喜直		1957	昭和 32	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	・ ニ	5	
84	つりかわさん	まど・みちお		磯部 徹		1958	昭和 33	ハ 長調	8分 の4	・ ハ	・ ハ	4	

米倉・米倉：「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の分析と一考察

85	すうじの歌	夢虫I 二		古谷肇		1957	昭和 32	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ハ	4	
86	サっちゃん	坂田寛夫		大中 恩		1959	昭和 34	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ニ	5	
87	いぬのおまわりさん	佐藤義美		大中 恩		1960	昭和 35	ニ 長調	4分 の4	□	： ニ	5	
88	アイスクリームの歌	さとうよしみ		服部公一		1960	昭和 35	ハ 長調	4分 の4	イ	： ニ	5	
89	おなかのへるうた	坂田寛夫		大中 恩		1960	昭和 35	ニ 長調	4分 の2	・ ニ	： ニ	5	
90	おふるジャブジャブ	佐藤義美		服部公一		1960	昭和 35	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
91	とけいのうた	筒井啓介		村上太郎		1961	昭和 36	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	： ニ	5	
92	思い出のアルバム	増子とし		本多鉄磨		1961	昭和 36	ハ 長調	8分 の6	・ ハ	： ニ	5	
93	手のひらを太陽に	やなせたかし		いずみ たく		1961	昭和 36	変ホ 長調	4分 の4	変口	： ニ	5	
94	コンコンクシヤンのう た	香川美子		湯山昭		1961	昭和 36	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ニ	5	
95	ドロップスのうた	まど・みちお		大中 恩		1962	昭和 37	ニ 長調	4分 の2	・ 嬰ハ	： ホ	6	
96	おもちの チャチャチャ	野坂昭如 吉岡治補作		越部信義		1962	昭和 37	ハ 長調	4分 の4	・ ニ	： ハ	4	
97	アイアイ	相田裕美		宇野 誠一郎		1962	昭和 37	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
98	あめふりくまのこ	鶴見正夫		湯山昭		1962	昭和 37	ニ 長調	4分 の2	□	： ニ	5	
99	おなががわらった	保富康午		湯山昭		1962	昭和 37	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ハ	4	
100	山のワルツ	香川美子		湯山昭		1962	昭和 37	変ホ 長調	4分 の4	変口	： 変ホ	6	
101	はしるのだいすき	まど・みちお		佐藤真		1961	昭和 36	変口 長調	4分 の4	変口	： ニ	5	
102	おはなしゆびさん	香川美子		湯山昭		1962	昭和 37	変ホ 長調	4分 の4	変口	： ニ	5	
103	あさいちばんはやい のは	坂田寛夫		越部信義		1962	昭和 37	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
104	とんでった バナナ	片岡輝		櫻井順		1962	昭和 37	ハ 長調	4分 の4	□	： ニ	5	
105	ぼうが一本あったとき	東京の わらべうた	小泉文夫 採譜	間宮芳生		1963	昭和 38	調音階	4分 の2	・ ニ	ト	3	
106	せっけんさん	まど・みちお		富永三郎		1963	昭和 38	ハ 長調	4分 の2	・ ハ	： ニ	5	
107	まっかな秋	薩摩忠		小林秀雄		1963	昭和 38	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
108	マーチング・マーチ	坂田寛夫		服部公一		1964	昭和 39	ハ 短調	4分 の4	・ 変ホ	： 変ニ	5	
109	たのしいね	山内佳鶴子		寺島尚彦		1964	昭和 39	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
110	こゆび	こわせ・たまみ		林 光		1965	昭和 40	ト 長調	4分 の4	・ ニ	： ニ	5	
111	あくしゅでこんにちは	まど・みちお		渡辺茂		1968	昭和 43	ニ 長調	4分 の2	・ ニ	□	4	
112	手をつなごう	中川李枝子		諸井誠		1965	昭和 40	ニ 長調	4分 の2	・ ニ	： ニ	5	
113	カレーライスのうた	関根榮一		服部公一		1965	昭和 40	変ホ 長調	4分 の4	変口	： ハ	4	
114	へい！タン布林	吉岡治		湯山昭		1967	昭和 42	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ハ	4	
115	一ねんせいになつた ら	まど・みちお		山本直純		1966	昭和 41	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
116	せんせいとおともたち	吉岡治		越部信義		1965	昭和 40	ハ 長調	4分 の4	□	： ハ	4	
117	あらどこだ	神沢利子		越部信義		1966	昭和 41	変口 長調	4分 の4	・ ハ	： ニ	5	
118	おぼけなんていない さ	横みのり		峯 陽	越部信義	1966	昭和 41	ト 長調	4分 の4	・ ニ	： ニ	5	

山陽論叢 第24巻 (2017)

119	きのこ	まど・みちお		くらかけ昭二		1966	昭和 41	へ 長調	4分 の2	・ ハ	・ 変口	4	
120	バスごっこ	香山美子		湯山昭		1966	昭和 41	へ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
121	ヤンチャリカ	阿久悠		小林 阿亜星		1968	昭和 43	ハ 短調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
122	やきいもグーチャー バー	阪田寛夫		山本直純		1969	昭和 44	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
123	うたえバンバン	阪田寛夫		山本直純		1970	昭和 45	変ホ 長調	4分 の4	・ 変ホ	・ 変ホ	6	
124	あわてんぼうのサン タクロース	吉岡治		小林 阿亜星		1971	昭和 46	へ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
125	ホ！ホ！ホ！	伊藤アキラ		越部信義		1971	昭和 46	ニ 長調	4分 の4	変口	・ ニ	5	
126	北風小僧の寒太郎	井出隆夫		福田 和禾子		1972	昭和 47	へ 長調	4分 の4	・ ハ	・ へ	6	
127	そうだったらいいの にな	井出隆夫		福田 和禾子		1972	昭和 47	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ハ	4	
128	げんこつやまのたぬ きさん	香山美子		小森昭宏		1973	昭和 48	ハ 長調	4分 の4	・ 嬰ハ	・ 変ホ	6	ハ長調から短 調そして ト長調と移動
129	こぶたのきつねこ	山本直純		山本直純		1973	昭和 48	ニ 長調	4分 の4	・ 嬰ハ	・ 口	4	
130	地球はみんなのもの なんだ	山川啓介		いずみたく		1974	昭和 49	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
131	そらでえんそくしてみ たい	悠木一政		早川史郎		1974	昭和 49	へ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
132	南の島のハマハマハ 王	伊藤アキラ		森田公一	佐々木勝彦	1976	昭和 51	へ 長調	4分 の4	・ へ	・ ニ	5	
133	ありがとう・さようなら	井出隆夫		福田 和禾子		1976	昭和 51	変ホ 長調	8分 の6	変口	・ 変ホ	6	
134	ヤッホッホ！夏休み	伊藤アキラ		小林 阿亜星	早川史郎	1979	昭和 54	ト 長調	4分 の4	・ ニ	・ ニ	5	
135	イルカはザンブラコ	東龍夫		若松正司		1980	昭和 55	へ 長調	4分 の3	・ ハ	・ 変口	4	
136	バナナのおやこ	関 和男		福田 和禾子		1982	昭和 57	ハ 長調	4分 の4	・ ハ	・ ニ	5	
137	ぼくのミックスジュ ース	五味太郎		渋谷徹	林アキラ	1982	昭和 57	変ホ 長調	4分 の4	変口	・ へ	6	変ホ長調から 変イ長調と移動
138	にんげんっていいな	山口あかり		小林亜星	早川史郎	1984	昭和 59	ト 長調	4分 の4	口	・ ハ	4	
139	いま生きる子ども マーチ	こわせ・たまみ		湯山昭		1984	昭和 59	変口 長調	4分 の4	・ ニ	・ ハ	4	
140	あおいそらにえをか こう	一樹和美		上柴 はじめ		1985	昭和 60	ニ 長調	4分 の4	ニ	・ ニ	5	
141	はたらくるま1・2	伊藤アキラ		越部信義		1986	昭和 47	ト 長調	4分 の4	口	・ 口	4	
142	ぞうさんのぼうし	遠藤幸三		中村弘明		1987	昭和 48	ニ 長調	4分 の4	イ	・ 口	5	
143	おはようクレヨン	谷山浩子		谷山浩子	藤本敦夫	1987	昭和 48	ハ 長調	4分 の4	ト	・ ハ	4	
144	世界中のこどもたち が	新沢としひこ		中川 ひろたか		1988	昭和 49	ト 長調	4分 の4	・ ニ	・ ハ	4	
145	だれにだっておたん じょうび	一樹和美	上柴はじめ 補作	上柴 はじめ		1989	平成 元	変ホ 長調	4分 の4	・ 変ホ	・ 変ホ	6	
146	パンダうさぎコアラ	高田 ひろお		乾 裕樹		1990	平成 2	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	・ 口	4	
147	どんな色がすき	坂田 修		坂田 修	乾 裕樹 編曲	1992	平成 4	ト 長調	4分 の4	・ ニ	・ 変ホ	6	ト長調から 変イ長調で 終了
148	ここがせかいの まんなかだ	井出隆夫		福田 和禾子		1992	平成 4	ニ 長調	4分 の4	・ ニ	・ ホ	6	
149	銀ちゃんの ラブレター	儀万智		福田 和禾子		1994	平成 6	変ホ 長調	4分 の4	変口	・ 変ホ	6	
150	さようなら ぼくたちの ほいくえん (ようちえん)	新沢 としひこ		島筒英夫	早川史郎 編曲	1996	平成 8	ト 長調	4分 の4	口	・ ニ	5	参考:年代記 載なしウキベ ディアから 1996

米倉・米倉：「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の分析と一考察

151	にじの むこう	坂田修		坂田修	池徹 編曲	1996	平成 8	ハ 長調	4分 の4	口	嬰 へ	6	
152	お空の色は何色かな	冬野あり		上田豊		2004	平成 12	へ 長調	4分 の4	・ ハ	・ 二	5	
153	ありがとうの花	坂田おさむ		坂田おさむ	池毅 編曲	2009	平成 17	へ 長調	4分 の4	・ ハ	・ 二	5	

「表1」全国大学音楽教育学会編著(2013)『明日へ歌い継ぐ日本の子どもの歌唱歌童謡 140年の歩み』／(株)音楽之友社からの曲名、作詞者名、詞補作又は採譜者名、作曲者名、編曲者名、作曲年を転載

引用文献：

「図4」久保田和子 幼児の歌唱指導に必要な指導者の技術に関する考察 関東短期大学紀要 第59集 2017 pp.54 から転載

「表1」曲名、作詞者名、詞補作又は採譜者名、作曲者名、編曲者名、作曲年は全国大学音楽教育学会編著(2013)『明日へ歌い継ぐ日本の子どもの歌唱歌童謡 140年の歩み』／(株)音楽之友社から転載

参考文献：

小泉文夫(1960)『日本伝統音楽の研究Ⅰ』／(株)音楽之友社

小泉文夫他2名(1984)『日本伝統音楽の研究Ⅱリズム』／(株)音楽之友社

小泉文夫他3名(1982)『日本の音階 [東洋音楽選書9]』／(株)音楽之友社

藤井知昭他3名(1985)『日本音楽と芸能の源流』/日本放送出版協会

吉川英史(1979)『日本音楽の性格』／(株)音楽之友社

星 旭(1971)『日本音楽の歴史と鑑賞』／(株)音楽之友社

熊谷雄二(2010)『音楽の子ども』／言叢社

大畑祥子他2名(1987)『子どもと音楽第2巻 子どもが発達と音楽』／(株)同朋舎出版

東川清一他3名(1987)『子どもと音楽第5巻 音楽指導の実践』／(株)同朋舎出版

清水たづ(1883)『保育唱歌(「保育唱歌」一覧)』／お茶ノ水女子大学 (<http://hdl.handle.net/10083/31220>)